

特別養護老人ホーム

春日野園

言語聴覚士紹介

自己紹介



みやの あつこ

言語聴覚士 宮野 敦子

趣味: 読書、映画鑑賞、ドライブ・写真撮影・作詞

特技: いろいろ計画していく事・細かい作業

今後の目標: 食べられない=「絶食」ではなく、どうやったら食べられるか、ご本人様、職員、食物、環境などの視点から考えていく。また、最期まで食べたい物を美味しく召し上がっていただけるように、お食い締めを考えていく。

嚥下訓練



唾液腺を促したり、飲み込みの具合を見ながら評価を行っています。

DVD体操



春日野園で作成した口腔体操のDVDを見ながら体操を行っています。

介護職員への勉強会



介護職員へ食事介助の方法や介護に必要な知識を教えます。

口腔ケア指導



新人職員や口腔ケアの難しい入所者様の口腔ケアの方法を指導しています。

令和1年度 誤嚥性肺炎による入院 7件

昨年度と今年度を比較してみました

令和2年度 誤嚥性肺炎による入院 0件



特別養護老人ホーム春日野園

ご高齢になってくると、だんだんと咀嚼や飲み込みの機能が衰えてきます。それに伴い、誤嚥性肺炎になりやすく、寝たきりの生活になる場合がほとんどです。春日野園では、言語聴覚士を中心に、看護師、介護職、管理栄養士などと連携し、入所者様が、いつまでも“お口から美味しく食べる”を目標に下記の取り組みを実践しています。

事例紹介



ご本人様の状況: 要介護5 年齢70歳代
既往歴: パーキンソン病、高血圧症
過活動膀胱、骨粗しょう症
障害日常生活自立度: A1
認知症日常生活自立度: IIIa
ADL: 移乗や食事は全介助

車いすだと、顔が下を向き前傾姿勢になり、誤嚥のリスクが高まります。リクライニングに変更し、座位姿勢のポイントを見直し工夫したことで姿勢が良くなり、首の前傾も改善しました。

食事摂取量 改善前: 平均3~4割
改善後: 平均6~8割
(パーキンソン病によりムラはありますが...)

摂取量が低下し、主食のご飯が食べにくい方には素麺やうどんなどの麺類に変更することもできます。また、食事の姿勢や食事介助、口腔ケアなどの問題点を改善しながら、美味しく召し上がっていただきます。それでも食事摂取量が少ない方には栄養補助食品の追加やご家族様から差し入れのご相談が出来るような環境を整え、誤嚥性肺炎の予防に努めています。

ホームページ

春日野園ホームページより、申し込み書類一式をダウンロードしていただけます。

ブログより施設や入居者の雰囲気をご覧ください ▶▶▶



インスタ



ブログ

お問い合わせ
ご相談は

特別養護老人ホーム春日野園

〒731-0139 安佐南区山本新町2丁目18-9-14

☎ 082-832-4165 FAX: 082-871-4166



どうほう

担当: 道方まで